

現場： 江戸川右岸 関宿橋上流 @ 埼玉県 幸手市 西関宿

概要： [3/13 安田先生のレポートの Follow-up](#). 堤内側でのり面が滑動, 末端部が隆起. 中腹に腹付け?された道路 (県道 42 号) の中央線を境にして法肩側が大きく滑動した。

緊急復旧工事が実施されていた (3/16 午後)。堆積土砂の撤去とのり面の切り直し (暫定) は完了しつつある模様。堤防のり面の切土面から堤防内材料の状況を確認した。小段より上の切土面の最上部には腐食土混じりの表土があるが、それより深より最下段の切土面の中間深くらいまではローム系? 最下層には比較的粒径の揃った細砂層 (のり尻から約 1m くらいの厚さ) が存在することが確認された (境界は明瞭でないが, 明らかに“砂だけ”で構成される地層が存在する)。押し出し土砂が堆積していたと思われる付近では砂が噴出もしくは流れたような痕跡あり。若干の地下水滲み出しのため当該部分は含水率高い (一部水溜り)。安田先生の推察通り, 液状化により脚部が強度消失したのが原因か。



(提供：国土地理院)





最下部には粒径の比較的揃った細砂層（厚さ 1m 以上）

現場： 福川水門（利根川支川 福川の合流点） @ 埼玉県 行田市（利根大堰の上流 3km）

概要： 水門に接する河岸のコンクリートブロック護岸が2箇所（一方が幅約5m, もう一方は幅約15m 程度?）崩落した。3/16の時点で緊急復旧されているので、崩壊状況は直接見えない。水門の隣接部分が損傷したのは、水門部分と護岸部分の振動モード（位相）が大きく異なったため、接合部分にひずみが集中したためと考えられる。水門を挟んで対角に位置する2箇所だったのもこのような系全体の振動現象の結果ではないかと想像される。



(被害のあった2箇所が水門を挟んで対角位置)

(C)2011 Yahoo Japan, ZENRIN



下流側右岸



上流側左岸

以上